

## 水野 時孝ゼミナール【経営-3クラス】

【題目】租税法と国際課税

【到達目標】租税法の基礎を学んだ後、より高度な知識を身につける。

【講義内容】租税法の基本原則及び各税法の仕組み等、租税全般を対象にする。また、多国籍企業の実態を紹介し、国際課税についても学ぶ。租税に関する様々なエピソードや最新の情報を伝えるが、租税にこだわらず、経済活動全般についての質問等に応ずる。また、関係官庁や企業見学の学外授業を実施する。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 各業界の研究
- 第3回 企業等の最近の動向
- 第4回 租税法基礎
- 第5回 各税法の仕組み1
- 第6回 各税法の仕組み2
- 第7回 各税法の仕組み3
- 第8回 租税手続法
- 第9回 国際税務1
- 第10回 国際税務2
- 第11回 学外授業
- 第12回 興味あるテーマの設定
- 第13回 資料・情報の収集
- 第14回 レポートの作成
- 第15回 プレゼンテーションとディスカッション

【教科書】教員が配布する。必要によって、適宜、指示する。

【参考文献】教員が、適宜、指示する。

【評価方法】レポートの内容、出欠状況、取組状況を考慮した総合評価

【履修の条件】特になし

【聴講生・科目等履修生受入】否

【他学科生・他専攻生受入】否

【他学部生受入】否

【当該科目に関連する開設科目】特になし

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】税に関連した臨場感ある話をするので、興味を持って履修して欲しい。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	○
論理的に考える力	○
多様性を理解する力	○
意志や情報を発信する力	○
自ら行動する力	◎